

2015年度 尚巴志語り部新聞

2

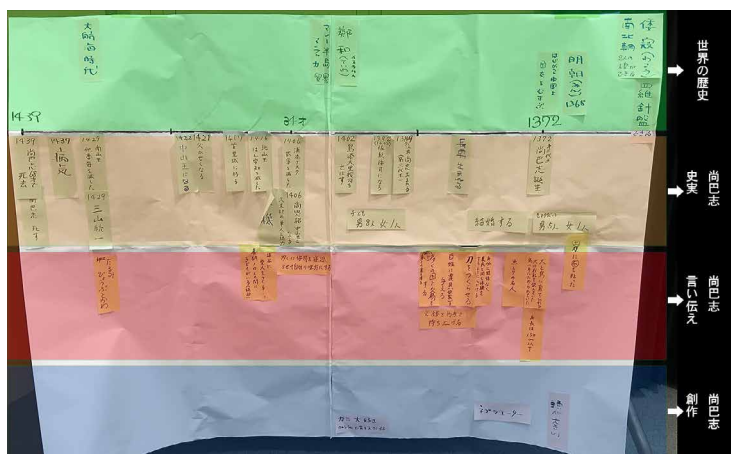
みなさん尚巴志に詳しくなってきました。

六〇〇年ほど前に沖縄三山を統一した南城市の偉人尚巴志（しょうはし）が、次世代に語り継がれる環境を作っていく、南城市尚巴志の語り部育成事業の一環として、尚巴志の語り部育成講座が平成二六年度に引き続き、平成二七年度も開催されています。

今回の講座内容は「尚巴志の年表作り」を行いました。昨年からの参加者も多いため、尚巴志についての知識は増えてきています。しかしその知識をまとめる機会を昨年度には作ることができなかったため、歴史の流れの中から尚巴志の行ったことを見ることができませんでした。そこで今回、尚巴志がなぜ三山を統一することになったのか、尚巴志の人生を生きたところから見えていくと同時に、尚巴志が生きた時代の世界の動き（中国、日本を中心に世界的な流れ）も年表にまとめていきました。模造紙を4枚つなげた大型年表に、4つの層を作しました。



一つは「史実」としての尚巴志の層です。「史実」とは歴史的に裏づけ（文書等）がある事実です。第二層は「言い伝え、伝承」です。歴史として、その事実を確認できないが、昔から伝えられてきた話のことです。尚巴志に関する話で言えば、「犬と鳥に育てられた」という出来事はこの層に属します。三つ目の層は、本事業で参加者と考えてきた尚巴志に関する創作です。尚巴志がしゃべったことは何一つ残っていない訳ですから、物語に必要なセリフはまさしくこの層です。そして最後の4層



目として世界の歴史です。尚巴志が生きた時代は激動の時代と言ってもいいかもしれません。中国では、モンゴル人による政府が倒され、「明（みん）」という

王朝ができあがりしました。日本では天皇が二人できるといふ特異な時代から室町幕府ができました。また、朝鮮では、朝鮮半島を統一する国家「李氏朝鮮」ができあがり、世界に目を向ければ、羅針盤が発明され、航海術が革新の進歩をとげ、人々が「世界」を移動できる時代になっていました。そしてヨーロッパでは「ルネサンス」という人間を見つめ直す思想が芽生え始めていました。そんな時代に「三山の統一」は歴史の必然のようにも思えます。その役割を引き受けたのが尚巴志だった、そんな風にとみると、また違った琉球史が見えてくるかもしれません。

振り向けば上里先生

今回の講座のプログラムは物語を創作しながらも、尚巴志の学習ができるように組まれています。歴史の勉強というと、歴史の先生の話聞き、受講生は黙って、出来事を暗記する、そんなイメージじゃないですか。でも話を聞くだけではなかなか頭に入って来ないし、少し経てば、また忘れてしまう。大人になってもそんな学びはしたくないので、違うアプローチをします。

今回の講座では「台本を作る」ことが目的です。しかし台本を書くというのは、尚巴志の当時を具体的に想像し、彼のセリフを書くとなると、彼の心の動きを知る必要があります。そのために当時の風俗や出来事を知る必要があります。もちろん私たちはすべてを知っている訳ではないので、創作をしている時には多くの疑問が湧いてきます。「どんな履物を履いていたのか?」「石敢當はあったの?」とか。そんな疑問が湧いた時に、いつでもいるのが上里隆史先生。自分たちで見つけた「疑問」ですから、その知識は一生モノになりますよね。

で、いつも「振り向けば上里先生」なのです。ご活用ください。

講座はこんな感じで進めます (再掲)

本講座の中心となるのは、市内の小学校で読み聞かせを行っている父母の方々です。そのことを踏まえて講座を作っています。基本方針は以下になります。

- ・ 子育てがあるので、平日昼間の開催が基本
- ・ 家族の生活を優先し、生活の一部として講座に参加してもらえ環境作り
- ・ 物語作りの質がいいことに越したことはありませんが、みんな話しながら、協力しながら、作っていく過程を重視する
- ・ 心地よい環境をみんなで作っていく

事務局スタッフのひつじと

今までは事務局として裏方をしておりましたが、初めて年表作りの出しリテータをさせてもらいました。物語を作る時に大切なのは、ウソなのか本当なのか分からない世界を作ることだと思っています。だから、作り手がウソと本当を意識的に構成する必要があると思います、今回のような形式の年表を作ろうとしました。

この年表はいつも講座の時には貼っておきます。創作の根拠を探したり、ヒントにしたりしてください。(石田)

今後の予定

- 第六回 一月二四日(火)
「台本作り創作ワークショップ②」 講師：富田めぐみ、上里隆史
- 第七回 二月八日(火)
「台本作り創作ワークショップ③」 講師：富田めぐみ、上里隆史
- 第八回 二月一六日(水)
「朗読劇のためのワークショップ」 講師：アベタミコ他
- 番外編 二月一八日(金)
フリスで最高の5つ星評価
観劇『ポトルメール』 作：富田めぐみ @国立劇場
- 第九回 二〇一六年一月二二日(火)
「台本作り創作ワークショップ④」 講師：富田めぐみ、上里隆史
- 第一〇回 一月一九日(火)
「台本作り創作ワークショップ⑤」 講師：富田めぐみ、上里隆史
- 第一一回 二月九日(火)
「台本作り創作ワークショップ⑥」 講師：富田めぐみ、上里隆史
- 第二二回 二月二日(日)
「できあがった台本による舞台披露会」

次回(第六回)の予定

日程：一月二四日(火) 時間：一〇:〇〇～一二:〇〇

場所：大里庁舎3階市民ギャラリー



いつもと違う会場です。

お知らせ… 今年も富田めぐみ先生作・演出の演劇を観に行くツアーを企画しています。近々、参加の可否の集計をとります。